

御殿場

2009
No.186号

7

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行/総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 上野 貢一

〒412-0023 御殿場市深沢1465の1

TEL 0550-83-1999

FAX 0550-82-5189

<http://www.jyuji.ne.jp>

e-mail: info@g.jyuji.or.jp

印刷/岳麓印刷株式会社

(聖句) 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



5/14 動物ふれあいイベント

イルド

理事長 平井 章

「ケアハウス第二アドナイ館・地域密着型特定施設入居者生活介護施設(定員二〇名)が、六月一日浜松十字の園の隣にオープンしました。私自ら施設長として運営をします。浜松市民の要介護認定のある方が入居対象者です。通常のケアハウスや特別養護老人ホームとは一味違う運営を考えています。

運営の方針として「四つのリハビリ」を上げました。心のリハビリ、頭のリハビリ、口のリハビリ、体のリハビリの四つです。スポーツでは「心技体」という言葉があります。

リハビリテーションは直訳すれば、「人間の復権」「人間復興」です。理学療法、作業療法等だけではなく、精神的・霊的な「心」のリハビリ、食べると話すの「口」のリハビリ、自分で考えながら生きる「頭」のリハビリも大切です。第二アドナイ館のモットーは「自分らしく、その人らしく、生き生きと、あなたの『生きる』を支えます。」です。

「善きサマリヤ人」

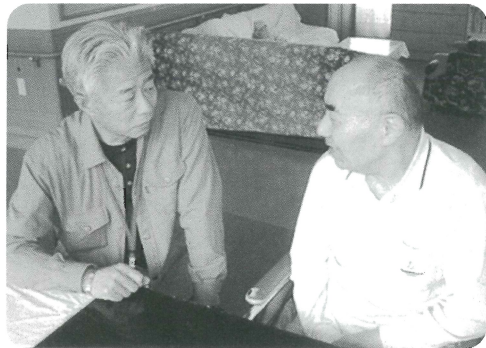
御殿場十字の園 施設長 上野 貢

日本キリスト教社会事業同盟の第六十五回総会と研修会が、六月十一、十二日に、札幌で行われました。今年の大会は、一、二名の参加があり、昨年に引き続き、韓国から大韓イエス教長老会社会奉仕部の方達も参加されました。社会福祉法人神愛園理事吉田長平氏の「神愛園―過去 現在 未来―」、大韓イエス教長老会（PCK）社会奉仕部イ・スンヨル牧師の「日韓間キリスト教社会奉仕（ディアコニア）の出会いと交流」、道北センター館長R. ウィットマー氏の「精神障がい者の社会参加を目指す道北センター福祉会の歩み」の講演を伺いました。今回の総会と研修会は、神愛園が準備をしました。研修会に先立ち、神愛園の幾つかある施設の中、高齢者総合福祉施設と小規模多機能施設の二つの施設を見学させていただきました。

は、三〇〇号の大きなサマリヤ人が強盗に襲われ傷ついた旅人を抱きかかえ介抱している画が飾られていました。この神愛園は、一九七〇年に法人が設立され、三十八年間三六五日、一度も礼拝を休んだことがないと、理事長の大田一男氏が淡々と語っていました。新約聖書ルカ福音書一〇章「善きサマリヤ人」の話は、知っている方も多いかと思えます。法律学者が、イエスに質問をします。永遠の命を得るためにどうすればよいのですか。イエスの答えは、「神を愛し、隣人を愛する。」ことだと伝えます。隣人とは誰ですかとの問いに、イエスは、「善きサマリヤ人」の譬え話をされます。ユダヤ人とサマリヤ人は、日頃、付き合いがなく仲が悪かった。旅人のユダヤ人が強盗に襲われ、倒れているところに祭司が通りかかります。祭司は、神官で神

御殿場十字の園を訪問して

しずおか福祉オンブズマン 渡邊 正章



福祉オンブズマンとして、平成二十年十一月より毎月一回、二人で訪問させていた。初めてから六ヶ月が過ぎました。初めてから私達を温かく受け入れてくださった、職員の皆様、利用者の方々に感謝しております。

ここであらためて福祉オンブズマンについて簡単にふれさせていたいただきたいと思えます。オンブズマンというと施設の告発や糾弾と思われる方もあるかもしれませんが、私

達、福祉オンブズマンの活動の原点は、市民の立場で声のない人の声を聴き、それを代弁することです。また、利用者の方々の「権利擁護」と、職員の皆様と一緒に「介護サービスの質的な向上」を目指すことです。

最初の六ヶ月は、お話を聞くだけの傾聴活動を行い、職員の皆様や、利用者の方々と少しずつ馴染みになり、そして施設側と協議し、七ヶ月目以降は福祉オンブズマン活動に移行し、私達を感じた疑問や問題を職員の方と意見交換する予定です。（すでに御殿場十字の園では、意見交換を行っておりますが）

この六ヶ月の活動を振り返ってみますと、実際のところまだ少数の利用者の方としかお話ししておりませんが、会話もスムーズにいらるかというところでもありません。こちらからの一方的な問

い掛けがほとんどで、本音を聞けるところまでいってありません。コミュニケーションは言語だけではなく、コミュニケーションの難しさを痛感しております。活動としてはまだまだこれからで、地道な活動が必要かと思っております。

御殿場十字の園は、最初から職員の方が大変協力的で活動しやすい所です。どの施設でもそうですが、私達の活動は職員の皆様の協力がなければ成り立ちません。今後職員の方とも信頼関係を築き、問題解決の方向性をともに考えていければと思っております。

これからも、一市民の立場で、利用者の方々の思いや声を施設側に伝えられるよう努力するとともに、利用者の方々の声なき声を感じられるよう感性を磨きつつ、職員の方と信頼関係のうえに一定の緊張関係を保ちながら、施設にも理解を得られるような活動を心がけていきたいと思っております。これからもよろしく願います。

殿に仕える人です。祭司は、見てみぬ振りをして向こう側を通って行きます。次にレビ人が来ますが、レビ人も祭司同様に神殿に仕える人ですが、レビ人も向こう側を通って行きます。助けたのは、日頃、仲が悪いといわれたサマリヤ人です。サマリヤ人は、介抱し宿まで送り、宿屋の主人にお金を渡し必要であれば、帰りにお金を払うから面倒を見て欲しいと頼みます。イエスは、誰がこの傷ついた旅人の隣人なのかと問いたたします。サマリヤ人ですと答える律法学者に、イエスは「行って、あなたも同じようにしなさい。」と話します。神愛園の理事で医師の吉田長平氏の話を伺い、韓国のイ・スンヨル牧師の話は、社会福祉実践もさることながら、ミャンマーのサイクロンや、中国四川省の地震の時、多くのボランティアを派遣し、世界中に災害があれば何時でもボランティアを送り出せる体制が出来ているといます。道北センターのR. ウィットマー氏は、精神障がい者の社会復帰

の働きを二十年前から取り組んでこられていたといえます。精神障がい者の社会復帰の問題は、とても重要で重い問題です。私の知らない世界で、隣人とは誰かと問い続け、地域にあつて黙々と取り組む働きを見ました。市場原理に流されないで必死に頑張っている姿を見ます。御殿場十字の園に取って隣人は誰か。又私達の働きが、隣人への愛の働きをなしているか襟をただされる思いでした。



不二聖心母の会の
ボランティアの皆様

居宅介護支援とは

御殿場十字の園居宅介護支援事業所 管理者 井部里美

○居宅での介護サービスやその他の保健医療サービス、福祉サービスを適切に利用することができるよう、ご契約者の心身の状況やご契約者とそのご家族等の希望をおうかがいして、「居宅サービス計画（ケアプラン）」を作成します。

○ご契約者の居宅計画に基づくサービス等の提供が確保されるよう、ご契約者及びその家族等、指定居宅サービス事業者等との連絡調整を継続的に行い、居宅サービス計画の実施状況を把握します。

○必要に応じて、事業者とご契約者双方の合意に基づき、居宅サービス計画を変更します。

創立の精神である「キリスト教精神に立って…必要な福祉サービスを総合的に提供する」（定款）を運営の基盤に、

職員は、愛と奉仕の姿勢を持ち『あなたのために』という法人の理念を実現するために、利用者お一人お一人に向かい合い、その意思を尊重し、日ごと生き生きと生活することができるよう居宅サービスを提供することを運営の方針にしています。

現在四人（男性一人、女性三人）の常勤職員で、「要介護」と認定された方を対象に、サービスを提供しています。通常の実施地域は御殿場市、小山町です。

私たちは、利用者の人権を

尊重し、介護保険制度の要である介護支援専門員として、基本理念である『自立支援』『利用者本位』を念頭に置き、『生きがいをもってその人らしい生活が送れるように』を目標に、日々努力をしています。

人それぞれ身体状況や環境、

考え方の違い、さまざまな個性があります。じっくりと話をうかがい、その人の立場になつて一緒に考えていきたいと思ひます。

『老老介護』『認認介護』など社会問題にもなっておりませんが、勉強会に参加して情報を得たり、自己研鑽を積み重ね、人、物、知識、技術、地域、いろいろな社会資源を活用し、残存機能を生かしてその人らしい望む生活が実現できるように支援します。

居宅介護支援は各事業所との連絡調整をしますが、チームワークが大切ですので、情報の共有や、専門職としての役割分担をし、時には助け合い、本人とその人の周りの人全員が同じ目標を持ち、共に歩んでいきたいです。



介護タクシー「夕光」

新 職 員 紹 介



二階

吉本 武夫



四月より御殿場十字の園の職員となりました。

昨年度まで東京の有料老人ホームで勤務をしていました。介護に携わって今年で十一年目になります。今までの経験を活かし、利用者の皆様に安全で安心な生活を提供できるよう心掛けていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

和田 春奈



まだまだ出来ることも少ないですが、精一杯がんばっていきます。これからよろしくお願ひします。

三階

風張 智



助を心がけて行きたいです。よろしくお願ひします。

土屋 喜史



けることもあるかもしれませんが、これからよろしくお願ひします。

田原 綾子



ます。マイペースな私ですが、よろしくお願ひします。

ヘルパー

芹澤 和江



四月からヘルパーステーションで働く事になりました。気持ち新たにがんばりたいと思います。

土屋恵美子



デイサービス

二月からデイサービスで働いています。土屋です。デイサービスは初めての経験ですが一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

ケアハウス 御殿場アドナイ館

入居者の様子

五月十三日(水)

遠足「富士桜まつり」

東名高速道路・御殿場インター↓富士インター↓西富士道路↓まかいの牧場・農婦レストラン「いただきます」昼食↓富士本栖湖リゾート「富士桜まつり」会場↓国道(三九号線)道の駅「なるさわ」↓東富士五湖有料道路・富士吉田インター↓須走インター↓ケアハウス帰館 富士桜まつり会場は富士山の大自然の中に、植付面積約二、四ヘクタール、約七十万株もの桜が群生し、昨年オープンし来場者は三十万人を数えたとのことです。利用者十二名、職員二名で、緑の森、青い空と富士山、そして、赤、紅、白、桜色の桜の共演を楽しんで来ました。尚、昼食の牧場レストラン「いただきます」バイキング料理は食材が新鮮で、広大な敷地の観光牧場は開放的でリピーターになりますね。



(田内)

〈ボランティア紹介〉
奉仕の喜び
 不二聖心女子学院母の会 高橋美和

私達母の会では、年に三回ご奉仕をさせていただきます。最初は学院の学生だけが何っておりました。いつも子供達はたくさんのお話を聞かせていただきます。お年寄りとお話の中では自分たちの知らない世界を知り、また楽しんでいただくために自分たちに出来ることは何かと色々考えをめぐらせ、新たな気づきや喜んで下さったときの感動をいただきます。お掃除では周りを見て何が必要かを考え行い、社会の一員であることを自覚しています。

お世話になっていきます。今日まで続けられましたことは、温かい受け入れがあるからこそ感謝しております。それは十字の園の方々、学院の先生方、卒業生と保護者の方々、そして私達が大きな愛の輪で繋がっているように見え、そこに存在できることに私共は喜びを感じています。

最後に、これを書き終えたときに思い浮かびました歌を紹介いたします。

「ひとつ」作詞 高橋晴美
 空と海がとけてひとつ
 あなたの心にとけて生きる
 空に星がとけてひとつ
 あなたの人生にとけて生きる
 あなたの部屋に野の花ひとつ
 いつも安らぎをとけてあげたい
 あなたののために何かひとつ
 今日もし新しく生まれかわりたい
 人と人がとけてひとつ
 今日もしあわせ感じ合いたい
 国と国がとけてひとつ
 その日を信じて今日も生きる
 その日を祈って今日も生きる

御殿場十字の園 平成20年度決算報告

貸借対照表 (単位：千円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|----------|-----------|-------------------------|--------------------|
| 流動資産 | | 流動負債 | 15,432 |
| 現金預金 | 140,957 | 固定負債 | 334,208 |
| 未収金他 | 114,591 | 負債の部合計 | 349,640 |
| 流動資産計 | 255,548 | 純資産の部 | |
| 固定資産 | | 基本金 | 175,413 |
| 土地 | 379,297 | 国庫補助金等特別積立金 | 537,741 |
| 建物 | 709,406 | その他の積立金 | 28,000 |
| その他の固定資産 | 44,519 | 次期繰越活動差額 (内当期活動収支差額) | 297,976 (4,746) |
| 固定資産計 | 1,133,222 | 純資産の部合計 | 1,039,130 |
| 資産の部合計 | 1,388,770 | 負債・純資産の部合計 | 1,388,770 |

御殿場アドナイ館 平成20年度決算報告

貸借対照表 (単位：千円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|----------|---------|-------------------------|---------------------|
| 流動資産 | | 流動負債 | 2,864 |
| 現金預金 | 14,639 | 固定負債 | 129,916 |
| 未収金他 | 9,110 | 負債の部合計 | 132,780 |
| 流動資産計 | 23,749 | 純資産の部 | |
| 固定資産 | | 基本金 | 137,256 |
| 基本財産 | 292,084 | 国庫補助金等特別積立金 | 130,183 |
| 建物 | 292,084 | その他の積立金 | 0 |
| その他の固定資産 | 59,676 | 次期繰越活動差額 (内当期活動収支差額) | -24,710 (-4,450) |
| 固定資産計 | 351,760 | 純資産の部合計 | 242,729 |
| 資産の部合計 | 375,509 | 負債・純資産の部合計 | 375,509 |

事業活動計算書 (単位：千円)

| 摘要 | 金額 |
|--------------|---------|
| 介護保険収入(含利用料) | 555,780 |
| その他 | 186,101 |
| 事業活動収入 | 741,881 |
| 人件費支出 | 493,099 |
| 経費 | 180,483 |
| 利用者負担軽減 | 1,633 |
| 減価償却費 | 54,462 |
| その他 | 1,559 |
| 事業活動支出 | 731,236 |
| 事業活動収支差額 | 10,645 |
| 事業活動外収支差額 | 4,849 |
| 特別収支差額 | -10,748 |
| 当期事業活動収支差額 | 4,746 |

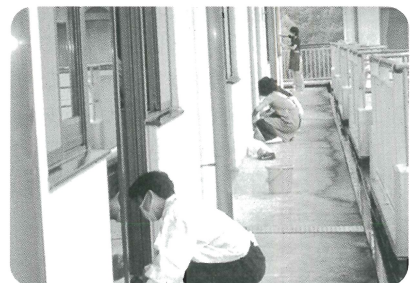
事業活動計算書 (単位：千円)

| 摘要 | 金額 |
|------------|--------|
| 利用者等利用料収入 | 32,995 |
| 補助金収入 | 19,163 |
| その他 | 9,644 |
| 事業活動収入 | 61,802 |
| 人件費支出 | 14,811 |
| 経費 | 25,366 |
| 減価償却費 | 20,530 |
| その他 | 83 |
| 事業活動支出 | 60,790 |
| 事業活動収支差額 | 1,012 |
| 事業活動外収支差額 | -262 |
| 特別収支差額 | -5,200 |
| 当期事業活動収支差額 | -4,450 |

平成20年度支える会決算報告書 (単位：円)

| 収入(献金)の部 | | 支出の部 | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 現金(96件) | 1,841,277 | 振込手数料 | 6,090 |
| 振込(56件) | 450,500 | 印刷代 | 519,120 |
| | | 郵送料 | 165,065 |
| | | 消耗品費 | 5,000 |
| | | 借入金償還等 | 1,596,502 |
| 合計(152件) | 2,291,777 | 合計 | 2,291,777 |

昨年度も多大なご寄付ありがとうございました。



献金下さった方々

敬称は略させていただきます

3月分

皆川稚暎子、社団法人玉穂報徳会、加藤貴美子、浅井登代子、名古屋北教会社会奉仕委員会、横山真人、東洋英和女学院中高部宗教委員会、高橋幸夫

4月分

安藤文知子、福島正昭、岩本教会、丸木進、鈴木きよ子、深沢婦人会、松島由美子

5月分

石渡理子、横山真人、安藤文知子

協力ボランティア

3月

みくりや友の会、森川、旅カ

4月

みくりや友の会、高橋文夫、杉山和子、厚生年金婦人会、隆生会書道、御殿場市赤十字奉仕団、市野はつ、AKI美容室、シヤマイム池谷、木洩

5月

れ日朗読の会、勝又静江、芹澤菊枝、高村恵子、鈴の会、御殿場教会、勝又町子、中里京子、井村弘子、渡辺弘子、太極拳カツマタ、加藤正代、フラダンスケイマル、弥生会、印野はざまの会、中村孝信、菅原幸和、若葉会、鈴木真咲、さわやか部会、高根婦人会OB会、高根中学生

御殿場十字の園へのご寄付

4月分 7件 48,000円
5月分 3件 18,000円

平成21年度合計

4～5月分 累計
10件 66,000円

ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。

郵便振替口座
口座番号 00870-9-190162
口座名称
社会福祉法人十字の園
御殿場十字の園

ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。

みくりや友の会、高橋文夫、心女子学院中学生、AKI美容室、勝又町子、ゆうゆうクラブ、太極拳カツマタ、勝又静江、芹澤菊枝、ビューティースタッフ、動物保護教室、市野はつ、中里京子、立正佼成会少年部、御殿場教会、杉山和子、御殿場市赤十字奉仕団、なでしこ会、神保久美子、玉穂婦人会、琴音会、菅原幸和、鈴の会、加藤正代、土屋明子、市婦連福祉グループ、印野はざまの会

あとがき

「朝顔に つるべ取られても らい水」と加賀千代女が読んだのは十八世紀前半の事。港区三田の薬王寺には、この井戸が今も残っています。遙か遠い奈良時代末に遣唐使が種を持ち帰った事から、日本における朝顔の歴史は始まりました。ただし、吉田兼好が「種をすりつぶして酒に混ぜて」と徒然草の中に書き出して以来、当初は薬用植物として扱われていた。それから一〇〇〇年の時を経て、江戸の文化と共に、文字通り観賞用植物として「開花」してきました。日本人は、中国から伝来した二十四節季と相まって、自然界の森羅万象から四季感を得る術を知っています。温暖化・高温暖化が叫ばれて久しいのですが、かろうじてその感覚が残っているようです。毎年七月の六日、七日、八日に東京入谷の鬼子母神で催される「朝顔市」があります。この時期に重ねあわせ、風物として『朝顔市』の季語は『夏』。そして意外かもしれませんが『朝顔』そのものが纏う季節は『秋』です。一つの植物が二つの季節を持つ事は稀だといえます。種から花の終わりまでを、季節感と共に見守り育ててきた証であるのかもしれない。その朝顔の『旬』の季節と共に、お手元にこの機関誌をお届けします。(やまもと)

あまだトンボ池 近況

里山保全とありのままの自然を次の世代に引き継いでもらう事を目的にあまだ里山の会が結成され整備事業を始めて8年になります。事業を通して多くの人達との出会いがあり、自然とのふれあいを体感できるのも里山の魅力でしょう。今年で水芭蕉や樹木の植栽もほぼ終わりこれからはその成長を見守っていきます。

モリアオガエルが帰ってきました。

トンボ池の切り株の上でカルガモが抱卵しています。蛭も幽玄の世界を演出してくれるでしょう。今後、身体に障害のある人達も散策できる遊歩道を設置できればと願っています。心身を癒す場を提供し続けられるよう会員63名は頑張っています。

あまだ里山の会

